

## 令和7年度学校評価報告書

令和8年3月30日

北海道教育委員会教育長 様

北海道穂別高等学校学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

一人一人を大切に、愛情と創意に満ちた教育活動で、社会人としての基礎基本を身につけさせる

(1) 学ぶ喜びを体感させ、自信と意欲を育み、基礎学力の定着と向上を図る  
 (2) 社会に通用する価値観を醸成し、正しい判断力と基本的生活習慣の定着を図る  
 (3) 自他の生命や人格を尊重し、互いに思いやり、健全に生きる態度の育成を図る  
 (4) 発達段階に応じたきめ細かな指導で、自己実現を目指す態度の育成を図る  
 (5) 教育相談等を通じた生徒理解に努め、個々の生徒に応じた的確な指導と支援を図る

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の学校課題を教職員それぞれが意識して、職務にあたることができた。</li> <li>閉校に向けた協賛会を発足させ、地域や各種団体との連携を深めながら順調に進めることができた。</li> <li>超過勤務の少ない働き方をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との関わりを重視した教育活動が実践されている。</li> <li>教育活動、組織運営、働き方、地域への発信等を含めた総合的なあり方について情報交換の場を設けるべきである。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の重点目標や学校経営方針を各職員で更に理解を深める。</li> <li>優先順位を考え、業務の精選を図る必要がある。</li> <li>割振の活用を一層進めるとともに、研修の機会を増やすなど、より良い職場環境を構築する。</li> </ul>	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価のあり方について、常に見直しの姿勢で検討を重ねていく必要がある。</li> <li>生徒それぞれにとっての個別最適な学びの保障を更に検討する必要がある。</li> <li>Chromebook（タブレット）を全授業で効果的に活用</li> <li>総合的な探究の時間では、3年間で穂別地区を考える学習を進め、10月には発表会を実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な探究の時間の発表内容が、年々向上している。テーマについて、より広い視野が持てるような設定にすることで、深い学びになると思う。</li> <li>ICTの活用を今後も推進していただいたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価のあり方について、常に見直しを行い、指導と評価の一体化を進める。</li> <li>ICT機器の活用をさらに進めるとともに、主体的な学びと両立するよう工夫する。</li> <li>「総合的な探究の時間」や教科横断的な学習を進め、地域学習や社会課題に向き合う活動をさらに推進する。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生には少人数である利点を生かし、個別最適な就職指導を実施しミスマッチを防ぐ指導を実施できた。また2年生には希望する学校への体験入学を通して、進路意識を高めることができた。</li> <li>進学者には全校協働体制で面接指導を実施することができた。</li> <li>進学相談員やハローワークの就職支援ナビゲーターなどの外部と連携し、有効に活動することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導については、少人数であることを利点とし十分に結果を出している。</li> <li>地域の社会人講話の学習時間を数多く取り入れて、生徒の進路実現につなげてほしい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の成長にあわせた段階的な進路指導を行い、進路意識を持てるように促す。</li> <li>生徒の実情に応じた進路教材などを有効活用し、個々に応じた適切なキャリア教育につなげていく。</li> <li>また、進路活動も生徒の希望進路に適切させていく。</li> <li>ハローワークや教育局などの連携を継続し、多角的なキャリア教育を推進する。</li> </ul>	
公表方法	ホームページ上で公表、PTA総会での公表および保護者への配付	